



火災・救急・救助 119

消防瓦版纏

まとい

No.435

富良野広域連合富良野消防署占冠支署
56 - 2119

取り付けましたか？住宅用火災警報器

住宅用火災警報器(住警器)とは、火災により発生する煙や熱を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器です。

富良野広域連合火災予防条例において、寝室と階段(2階に寝室がある場合)に住警器の設置が義務付けられています。まだ設置されていない家庭がありましたら設置するようお願いいたします。

火災は決して他人事ではなく、どこのご家庭にでも起こり得ることです。万が一のときでも、住警器があればいち早く火災を知らせてくれます。

救急出場状況

(11月分)

一般負傷 1件(1人)
急病 3件(3人)

11月計 4件(4人)
累計 187件(163人)
※()内は搬送人員



＜警報機が鳴ったときの正しい対処法＞

火災のとき	大きな声で知らせましょう。避難しましょう。 119 番通報しましょう。可能なら初期消火を行いましょう。
火災ではないとき	火災ではないのに住警器が鳴る場合があります。 警報停止ボタンを押すか、ひき紐を引いて警報を止めてください。
電池切れのとき	電池切れ警報が鳴ったら電池を新しいものに交換してください。 機器ごと交換する機種は、新しい住警器に交換してください。

※住警器は設置から10年を目安に交換しましょう。



野生動物対策の状況

農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56 - 2174



ヒグマ

例年 11 月から 12 月にかけて、薄く雪の積もった林道を行くと、先に通ったヒグマの足跡をよく見るものですが、今年はほとんど見かけませんでした。いなくなったわけではないはずですが、どうしたことでしょうか。今年のヒグマの異常ともいえる静かさには秋の爽り以外の要因があるものと思われ、この点に注意して来期に備えたいと思います。

酪農学園大学が 8 月末に生け捕り放逐した電波標識個体(雄亜成獣)は、11 月 24 日頃に中央市街の東方、ウチクリナイ沢源流域で測位が途切れしました。そこで冬眠に入った可能性があります。

これらを含む今期のいろいろを 2 月のヒグマミーティングでも皆さまにお伝えできればと思います。



エゾシカ

雪の季節、シカたちがササを食べることは皆さまご存じかと思います。では豊富にあるササだけ食べていればよさそうなものですが、実はこれを差し置いてさまざまなものを食べています。沢沿いや崖で雪を掘って草本の越冬葉や根を食べたり、木の枝先や樹皮をかじったり。またミズナラのドングリやヤマブドウの果実、コクワの果実も、秋に続いて冬でも探して食べているようです。(写真)

11 月の駆除捕獲は 44 頭と好調でしたが、12 月後半から次第に取りづらくなることが予想されます。



その他

一昨年 12 月に村内で保護した負傷オジロワシは、環境省の施設に送られ療養していましたが、昨年 8 月に死亡したとのことです。野生復帰が叶わず残念でしたが、施設では大事にもらったようです。



地域とともに

コミュニティ・スクール情報

～占冠中央小学校～

教育委員会学校教育担当 56 - 2182

アスペンとの交流

10月25日(金)に国際理解教育の一環として取り組んでいるアスペンとの交流会を実施しました。今年度は、生徒7人、引率者2人、合計9人での来校でした。本校の児童は、この日のために飾りやポスターを作ったり、楽しい交流会になるよう企画を考えて準備したりしながら楽しみにしていました。小さいときから村の事業として外国語(英語)に慣れ親しんでいる子どもたち。

自分の知っている英語を使いながら、積極的に話しかけて楽しく活動することができました。お別れでは、中央小恒例のアーチと玄関での見送りでおもてなしました。例年、小学校では半日ととても短い交流時間ですが、この交流を続けることによって、中学生になったときのアスペン留学につながるといいますのでこれからも継続していきたいものです。



トマム学校との集合学習(3年生社会科見学)

中央小では、集合学習としてトマム学校と修学旅行や宿泊研修、社会見学などの学習を合同で実施しています。10月28日(月)には3年生の社会科の学習で、トマム学校と中央小の3年生が南富良野町のJAふらのシレラ富良野工場へ見学に行ってきました。両校の子どもたちが互いに話しかけながら仲良く工場の様子を見学したり、働く人の話を聞いたりしてきました。社会科の学習としても地域素材を生かした学びある学習となりました。11月には、占冠駐在所や消防署占冠支署にも一緒に見学しに行つて学習を深めてきました。



長生会・清流大学との交流

11月21日(木)に長生会との交流、11月28日(木)に清流大学との交流を実施しました。地域のお年寄りの方との交流を通して、思いやりの心や親切心など多くのことを学びました。また、温かく優しい気持ちで接しながら楽しく活動できました。お年寄りの方々も積極的に話しかけてくれたり、優しく声かけしてくれたりして、ふるさと学習の一環である地域の人々を理解する学習に結びつくような有意義な学習となりました。ご協力くださった方々に感謝申し上げます。



こちら駐在所です

占冠駐在所
56 - 2110

北海道警察防犯アプリケーション「ほくとポリス」～ 防犯アプリで安全・安心 ～

北海道警察では、防犯アプリケーション「ほくとポリス」を提供しています。

「ほくとポリス」は、北海道内の犯罪や不審者、特殊詐欺の発生情報やその他の防犯情報を発信しているほか、防犯ブザー・ちかん対策機能などを備えています。

利用者の身近な場所の犯罪発生状況をお知らせし、自主防犯意識を高めていただくとともに、不審者に遭遇した場合などは、防犯機能を活用して周囲に助けを求めることができますなど、利用者の安全で安心な暮らしを助ける防犯アプリです。

また、アプリで登録したメンバーと位置情報を相互に送信する機能もあり、お子さまの見守りにも活用できます。

その他、地域の見守り活動を支援する防犯パトロール機能や警察署・交番までのルート検索機能、北海道内で配信された「ほくとくん防犯メール」閲覧機能があります。

「ほくとポリス」は、App Store、Google Playストアでダウンロードすることができます。ぜひダウンロードし、ご活用ください。



ほくとポリス